

第7回 福岡空港調査P I 有識者委員会

議 事 要 旨

【開催日時】平成 19 年 5 月 11 日（金）13:30～15:00

【開催場所】アクロス福岡 イベントホール

【出席者】

（1）委員（委員長）筑波大学大学院システム情報工学研究科教授	石田 東生
西日本新聞社特別顧問	杉尾 政博
神戸大学大学院工学研究科准教授	竹林 幹雄
公認会計士	藤田 和子
弁護士	山本 智子

（2）福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

・福岡空港調査連絡調整会議幹事

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	鈴木 勝
国土交通省大阪航空局飛行場部長	八鍬 隆
（代理出席：大阪航空局飛行場部次長	八木 千津男）
福岡県企画振興部理事兼空港対策局長	西村 典明
福岡市総務企画局理事	阿部 亨

【資料】次第、出席者名簿、座席表

資料1 福岡空港調査P I 有識者委員会の新委員候補の承認について
添付資料1 福岡空港調査P I 有識者委員会委員の推薦について
添付資料2 福岡空港調査P I 有識者委員会の設置について
添付資料3 福岡空港調査P I 有識者委員会規約

資料2 福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）

資料3 福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ2）における
福岡空港調査P I 有識者委員会の助言への対応について

資料4 必要な情報について「十分に提供されているとは思わない」と
回答した方の意見の傾向と今後の対策

【議事要旨】

審議事項

(1)福岡空港調査P I 有識者委員会の新委員候補の承認について事務局より、資料1に基づき提案され、原案の通り了承された。

(2)福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）について福岡空港調査連絡調整会議（福岡県西村理事）から説明が行われた。

- ・委員会から次のような評価をされた。

福岡空港調査P I（ステップ3）実施計画（案）については、基本的にはステップ1及びステップ2の実施計画を踏襲しながら、これまでのP I実施によって得られた市民からの意見及び過去のステップでの経験を踏まえ、市民相互間等の双方向のコミュニケーションに配慮した手法やステップ3の提供情報に応じた手法を設けるなどの工夫がなされており、P Iの進捗に伴う進化が認められることから、本計画は適切なものであると評価された。

- ・委員から次のような助言が行われた。

P Iレポート等の情報提供にあたっては、アカウントビリティ（説明責任）確保の観点から、市民等から詳細な情報提供の求めがあった場合にはP I活動の中で柔軟に対応すること。

過去のP Iのステップで実施していた「寄せられたご意見とそれに対する考え方の公表」後の「意見収集」については、実効性が伴っていないことが認められるので行わないこととするが、P I実施中に「寄せられたご意見とそれに対する考え方」について市民等が意見を提出できるような意見収集の仕組みとすること。

P I手法にある「総合懇談会」については、他のP I手法と同等の位置づけであることや「多様な立場の方々が議論を交わす場」であることを表すようなネーミングとすること。

P I手法のうち、説明会などで市民等に意見を求めるときは、発言に時間制限を設けるなど、発言者の機会の公平性を保つ工夫を行うこと。

福岡空港の利用実態を考慮し、外国人向けの情報提供・意見収集について引き続き努めること。